

持続可能な

令和5年度山形県DX総合推進事業
(生産性向上ビジョン作成支援事業)

生産カイゼン計画作成支援

DXへの
ステップ

生産性向上のための計画づくりはもちろん、
持続可能な社内のカイゼン体制づくりも伴走支援します！

デジタル
活用



概要

「現場のカイゼンを図ったが、効果が限定的だった」「デジタル技術を活用したいが効果的な方法がわからない」など、生産現場のお悩みはありませんか。

現場カイゼンの専門家（アドバイザー）が、企業の皆様とともに生産現場の分析と課題の抽出を行い、**生産性向上のための計画づくりを伴走支援します。** デジタル技術等を用い生産カイゼンを図り、DXへのステップアップを目指します。

◆「生産カイゼン計画」とは・・・

生産カイゼン計画は、以下のように企業が抱える課題の解決を図り、持続的に生産性向上を実現していくための実行計画です。

- ・ 製造現場全体の生産性をどのように高めていけばよいのか
- ・ 従業員にカイゼンの進め方をどう教えればよいのか
- ・ 課題とカイゼンがよくわからず効果も見えない

製造現場の状況を整理・分析し、課題解決と効果的なカイゼン方法を検討します。
また、カイゼンを実行していくための計画づくりをお手伝いします。

※生産カイゼンもPDCA（計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・行動(Action))
を繰り返すことが重要です。無理なく簡単に取り組むための計画づくりのほか、
持続的に実行できるマインド造りも支援します。

◆生産カイゼン計画書の作り方

・ カイゼン担当者を決めていただき、アドバイザーが丁寧に作成方法をレクチャーします。

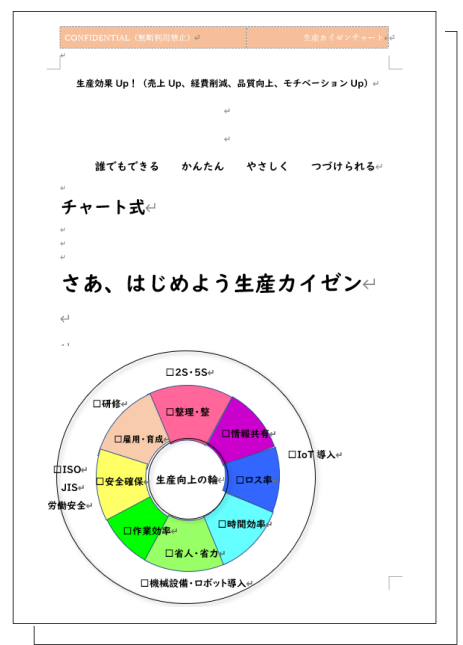
※計画書はチャート式（穴埋め式）なので誰でも説明に沿って作っていくことができます。（若手や未経験者の方でも大丈夫です。）

・ 難しい書類を作る必要もなく、現場の撮影やヒアリングをお願いする形ですのでスマホがあればOKです。

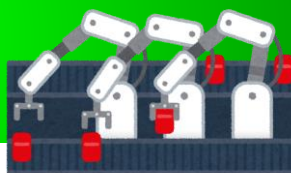
・ 計画書作成にあたってはWord、Excel、PowerPointいずれかの基本操作ができることが望ましいです。

・ 課題の抽出や課題に対する解決策は、アドバイザーと一緒に考えて埋めていきます。

・ 最後に、内容について社内の承認を得て完成です。



生産カイゼン計画作成支援



事業の流れ(概要)

計画作成支援に 申し込み

本事業での支援を希望される場合は、下記によりお申込みください。

【申込方法】

申込先E-mail kaizen@ypoint.jp

タイトル：生産カイゼン申込み

本文内：①会社名または団体名

②代表者氏名 ③申込者氏名

④電話番号



県内製造業10社公募
(先着順)

訪問およびオンライン による作成支援

専門家が貴社を訪問し、現状を把握。その後、オンラインによりアドバイスを複数回実施し、生産性向上のための実施計画づくりを伴走支援します。

成果発表会

事業全体の成果発表会を行います。伴走支援を行った結果、どのような計画が作成されたか、計画作成の段階で苦労した点や気づきも交えて紹介します。

支援専門家



株式会社VRテクノセンター
VR TECHNO CENTER INC.

所在地：岐阜県各務原市テクノプラザ1-1

メインアドバイザー：取締役企画営業本部長 横山孝弘氏

業務内容：ロボットシステム開発・画像処理・AI開発・生産管理
生産技術インテグレータ・生産技術コンサルタント
生産カイゼン・ロボット導入講師

URL：https://www.vrtc.co.jp/

作成支援費用

機構が費用の3分の2を支援します(企業3分の1負担)
詳しい費用等はお問い合わせください。

お問い合わせ



公益財団法人山形県産業技術振興機構
DX推進課 担当：早坂、渡辺(敏)、橋本
電話：023-647-3163

